



令和7年度対日理解促進交流プログラム
「JENESYS 2025 Part 1」
及び「JENESYS 2025 Part 2」
(対象国：太平洋島嶼国、豪州、ニュージーランド)

フォローアップ事業報告書
(同窓向け事業)

2月オンライン訪日プログラム



実施団体：一般社団法人国際協力サポーターズ・株式会社日本旅行 共同企業体

1. プログラム概要

【目的・概要】

過去に JENESYS 事業に参加した太平洋島嶼国にある南太平洋大学の同窓生を対象に、2026 年 2 月 17 日から 2 月 27 日の平日 7 日間で、「平和学習」「防災関係」「日本文化」に関するオンライン講義やワークショップ、登壇者との交流等を通じて、各テーマの理解を深めるとともに、同窓生同士のネットワーク構築を図ることを目的として実施しました。

【参加者】

南太平洋大学の同窓生：合計 26 名

(内訳) ミクロネシア 1 名、ソロモン諸島 4 名、サモア 3 名、フィジー 4 名、ナウル 2 名、バヌアツ 6 名、キリバス 3 名、PNG 2 名、トンガ 1 名

【使用ツール】

Zoom ミーティング

【日程】

2 月 17 日 (火) 【オリエンテーション】

参加者の自己紹介

外務省アジア大洋州局大洋州課 岩崎様「太平洋島嶼国と日本の繋がりについて」

一般社団法人国際協力サポーターズ 込谷様「JENESYS 大洋州」について

【テーマ関連講義：防災】

京都大学防災研究所「津波と台風災害のリスク低減について」

講師：森 信人 教授

2 月 18 日 (水) 【テーマ関連講義：平和学習】

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー「広島県について」

講師：蒲池 清士

株式会社 mint Sokoiko!「オンライン広島ピースツアー」

講師：Shin (シン)

2 月 19 日 (木) 【テーマ関連講義：防災関係】

琉球大学 島嶼防災研究センター「水害対策について」

講師：福田 朝生

八千代エンジニアリング「災害リスク低減（DRR）について」

講師：池田 陽介

2月24日（火）【テーマ関連講義：防災関係】

稲むら火の館「濱口梧陵と防災意識について」

講師：雑賀 聡

横浜国立大学台風科学技術研究センター

「地球温暖化時代の台風研究」

講師：佐藤 正樹 教授

2月25日（水）【テーマ関連講義：平和学習】

ひめゆり平和祈念資料館「オンライン平和学習」

ひめゆりの沖縄戦（平和講和）、絵で見るひめゆりの証言

講師：古賀 徳子

【テーマ関連講義：日本での働き】

「フィジーから日本で働くまでの道のり」

講師：クマル・エルビス※JPAA 創立者

2月26日（木）【体験：日本文化】

クレソン株式会社（MOTENAS JAPAN）「空手体験」

講師：林田 哲臣、小井 泰三

一般社団法人外国人向け料理教室協会（わしょクック）「キャラ弁づくり教室」

講師：富永 紀子

2月27日（金）【体験：日本文化】

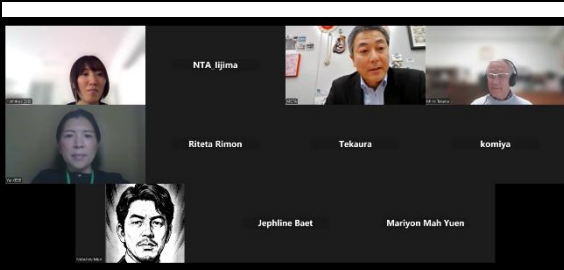
JICA 地球ひろば「SDGs について」

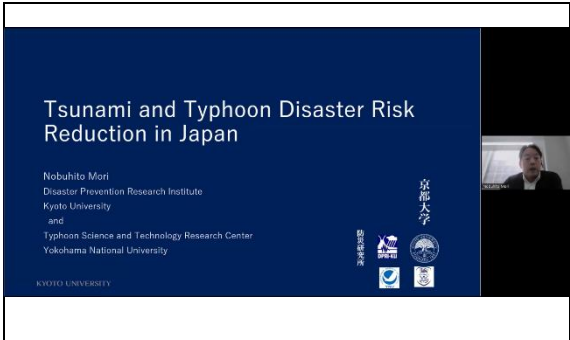
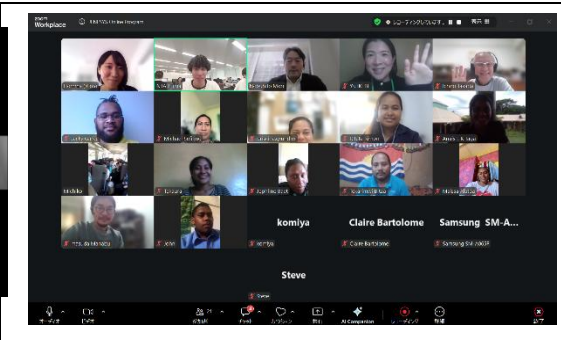
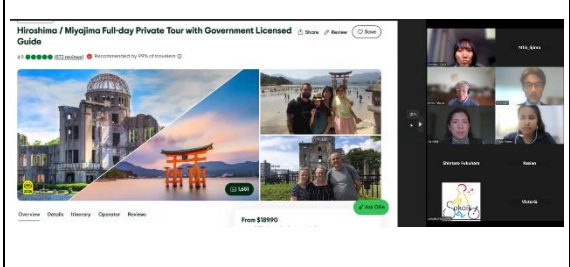
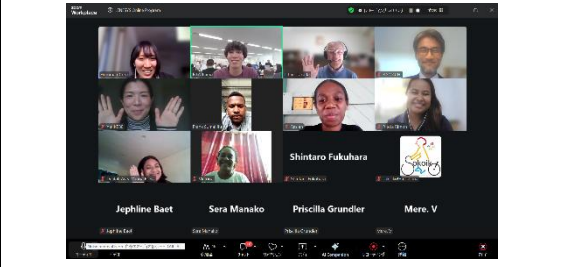
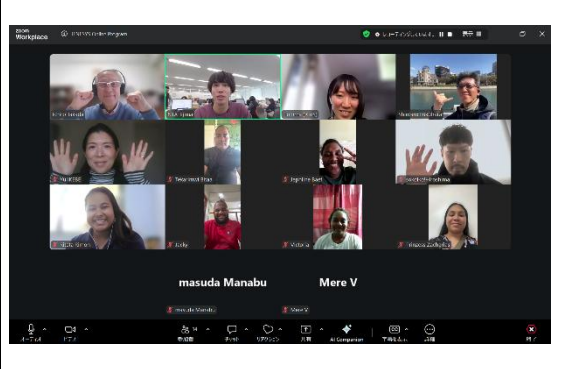
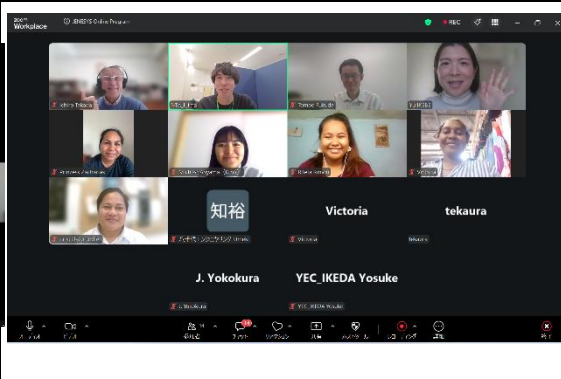
講師：兼本 友希（ウガンダ：体育）、松田 奏（ウガンダ：PC
インストラクター）

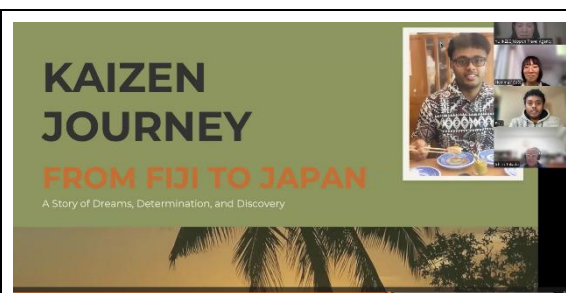
【振り返り】

各自振り返りの発表

2. 記録写真

	
2/17 外務省オリエンテーション	12/2 国際協力サポーターズ

	
2/17 京都大学防災研究所	2/17 集合写真
	
2/18 広島観光コンベンションビューロー	218 前半 集合写真
	
2/18 Sokoiko!	2/18 後半 集合写真
	
2/19 琉球大学 島嶼防災研究センター	2/19 前半 集合写真



2/25 クマル・エルビス



2/26 空手体験

Noriko Tominaga
CEO, Washo Cook Co., Ltd.

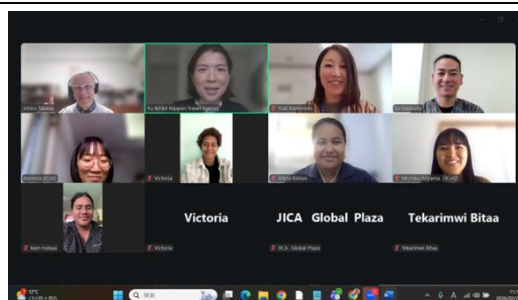
2014: Founded Japan's first cooking school for international guests, offering classes for individuals, groups, and corporate training.

2023: Established Washo Cook NZ to teach Japanese home cooking in Auckland.

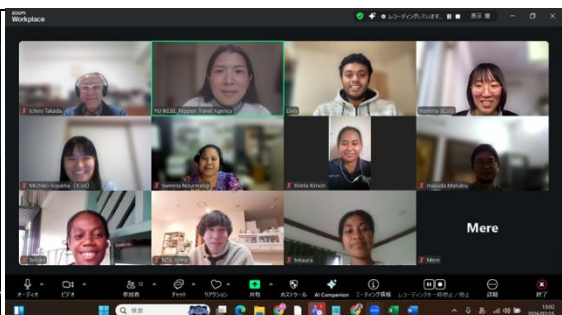
Now operating 80 franchises worldwide, promoting Japanese cuisine globally.

Kyaraben classes are especially popular, with over 10,000 international students

2/26 わしょクック



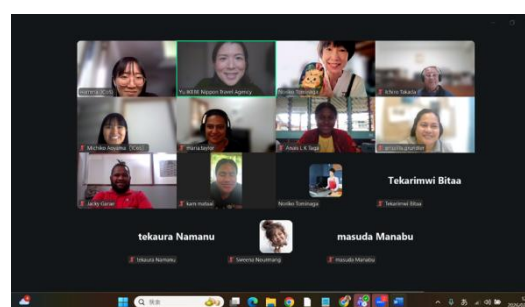
2/27 JICA 地球ひろば



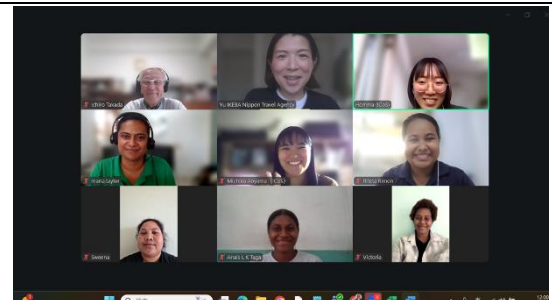
2/25 前半 集合写真



2/26 前半 集合写真



2/26 後半 集合写真



2/27 振り返り

3. 参加者の声（抜粋）

- 参加者①

インターンシップや留学といった様々な機会について学べたこと、そして日本で働いている JENESYS の卒業生の実際の体験談を聞くことができ、本当に楽しかったです！

- 参加者②

このプログラムに参加したことで、日本についてより深く知ることができました。例えば、歴史の授業では日本について少しは学びましたが、それほど深くは学びませんでした。プログラムに参加してからは、日本の歴史について新しいことを学び、日本に対する理解が深まった気がします。

- 参加者③

最初の JENESYS プログラムは、日本とその近隣諸国について、集中的で刺激的、そして目まぐるしいほどに盛りだくさんの体験を提供するものです。それは文化やアイデア、そして新たな友情が織りなす、まさに花火のような輝きです。フォローアッププログラムは、その輝きが消え去った後に始まるものです。それは、一瞬の輝きを永続的な炎へと変えていく、じっくりと時間をかけた取り組みです。多くの参加者は、このプログラムこそが JENESYS 体験全体の中で最も印象深く、やりがいのある部分だと感じています。

- 参加者④

ジェネシスを改めて体験できたこと、そして近い将来に役立つ新たな人脈を築くことができたことは、素晴らしい経験でした。

- 参加者⑤

このフォローアッププログラムへの参加は、私にとって非常に有意義な経験でした。このプログラムを通じて、日本という国やその文化、価値観についてより深く学ぶことができました。また、さまざまな地域から集まった他の卒業生たちと意見交換する機会もあり、それが私たちの友情と相互理解を深めることにつながりました。このプログラムは、参加者同士の協力や学び、ネットワーク構築を促進するものであり、私も地域社会で人とのつながりを築き続け、学んだことを周囲の人々と共有していきたいという意欲を掻き立ててくれました。

- 参加者⑥

世の中には常にチャンスがあるという事実が、私にとって大きな励みになりました。その一つが日本です。ここでは奨学金を得られるだけでなく、夢の仕事にも挑戦できるのです。

4. 受入れ側の感想